

会 見 年 月 日	令和 8 年 6 月 1 9 日（金曜日）		
担 当 課	社会福祉課	（担当者名：富田、松岡）	
問い合わせ先	TEL： 0791-43-6809	（内線：2142）	FAX：0791-45-3396

第 4 期赤穂市地域福祉計画策定に係るアンケート調査について

1 趣 旨

令和 9 年度から令和 1 3 年度までの 5 年間を計画期間とする第 4 期赤穂市地域福祉計画策定に関し、地域福祉に対する意識や生活課題、ニーズ等を把握するためにアンケートを実施します。

2 アンケート調査概要

(1) 調査目的

地域福祉に対する意識や生活課題、ニーズ等を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

1 8 歳以上の市民

(3) 調査件数

2, 0 0 0 件

(4) 回答方法

郵送又はウェブ

3 期間

調査票発送 令和 8 年 6 月下旬～ポスト投函期日 令和 8 年 7 月 3 1 日（金）

ウェブ回答期日 令和 8 年 7 月 3 1 日（金）

地域福祉に関する市民意識調査 —アンケート調査のご協力をお願い—

赤穂市では、現在、「第3期赤穂市地域福祉計画」（令和3年3月策定）に基づき、地域における多様な主体と行政が協働で、誰もが地域社会の一員としていきいきと安心して暮らせるまちづくりに取り組んでおります。

現在の計画は令和8年度末で終了することから、令和9年度から始まる「第4期赤穂市地域福祉計画」の策定に向けて、市民の皆様のご意見等をお尋ねするアンケート調査を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

令和8年7月

赤穂市長 牟礼正稔

※アンケート調査は無記名で実施し、調査により収集した情報は、当該計画策定以外の目的に利用することはありません。

〈調査票の回答方法について〉

回答方法は、次のいずれか一方を選んでください。

調査票（紙）とインターネットの両方で回答しないでください。

1 調査票（紙を郵送）で回答する場合

- （1）この調査票にご回答のうえ、同封の返信用封筒に入れて提出してください。
- （2）お名前や住所は書かずに、7月31日（金）までにポストへ投函してください。

2 インターネットで回答される場合

右のQRコードを読み込んで、回答してください。⇒



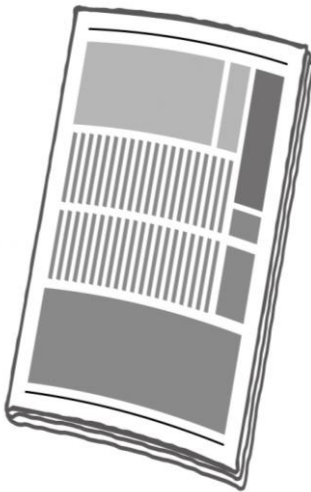
〈調査票のご記入にあたってのお願い〉

- ・ご本人が回答ができないときは、家族や民生委員、その他ご協力いただける代理の方がご本人のお気持ちを聞きながら回答くださいますよう、お願いします。
- ・回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。○の数は、設問毎に1つの場合と複数の場合がありますので、設問の最後にある（ ）内に注意し、ご記入ください。
- 「その他」を選んだ場合は、可能な範囲で具体的な内容をご記入ください。

アンケートに回答いただく前に
参考資料として、ご一読ください

困ったときはお互い様。だから助け合う。これが地域福祉を支える考え方（精神）です。しかし、こうした慣習が弱まり、地域には、周囲に気づかれないさまざまな生活困難が潜んでいます。

次の新聞記事は、その一端を表しています。



障がいのある娘と暮らしている母親が認知症になり、心配した相談機関が調べてみると、家の中から10年以上もひきこもっていた別の娘2人が栄養失調の状態で見つかった。近隣の人々は2人の存在を知らなかったのである。

また、ある中学生が不登校になり先生が自宅を訪問したが会えない。どうもおかしい。相談機関が調べると、家庭という密室の中で、借金苦、介護疲れ、ひきこもり、虐待などが複合して家族をむしばんでいた。

「多重困難家庭」とも言うべき人々が地域の中で見捨てられている。そんな現実が人知れず広がっている。

この記事は10年以上前のものですが、今日でも、50代の子どもが家にひきこもっているが、それを支えてきた親も高齢化し、介護が必要となっている状態があります。このように、ひとつの世帯に複数の課題を抱えた家庭があり、それが周囲に知られていない場合もあります。

アンケートは次のページからです

1.あなたご自身についてお尋ねします

問1 あなたの年齢（令和8年7月1日現在）をご記入ください。

満	歳
---	---

問2 現在お住まいの小学校区をお尋ねします。(1つに○)

1. 赤穂小学校区 2. 城西小学校区 3. 塩屋小学校区
4. 赤穂西小学校区 5. 尾崎小学校区 6. 御崎小学校区
7. 坂越小学校区 8. 高雄小学校区 9. 有年小学校区
10. 原小学校区
11. わからない（わからない場合は地区名を記載してください）

【地区名：_____】

問3 あなたと同居されている方すべてに○をつけてください。

1. 配偶者（夫・妻） 2. 父親・義父 3. 母親・義母
4. 祖父・義祖父 5. 祖母・義祖母 6. 兄弟姉妹
7. 子ども（18歳以上） 8. 子ども（18歳未満） 9. 孫（18歳以上）
10. 孫（18歳未満） 11. その他（ ） 12. 一人暮らし

2.日常生活における悩みや不安についてお尋ねします

問4 あなたは、日常生活でどのような不安や悩みを感じていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 自分や家族の健康や介護のこと
2. 高齢になってからの一人暮らし
3. 自分や家族の障がいのこと
4. 買い物や外出、移動に関すること
5. 世帯の収入や経済的なこと
6. 近所との関係
7. 育児や教育のこと
8. 性自認についての理解
9. 言葉や文化の壁
10. 地震や風水害、火事など災害のこと
11. 医療体制のこと
12. 特にない
13. その他 ()

問5 あなたは「自分は孤独である。孤立している。」と覚えることがありますか。

(1つに○)

1. 感じていない
2. ほとんど感じていない
3. 時々感じている
4. しばしば感じている・常に感じている

4. しし

問 6 へ

問5で「3」「4」を選んだ方にお尋ねします。

問6 あなたが孤独・孤立を感じる原因は何だと思いませんか。

(あてはまるもの3つまで○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 友人や親しい人と会う機会が減少した | 2. 家族との関係が良好でない |
| 3. 学校や職場に行く機会が減少した | 4. 不安や悩みを相談できる人がいない |
| 5. 一人暮らしのため | 6. 居場所がない |
| 7. 障がいや性自認の理解が不十分 | 8. わからない |
| 9. その他 (|) |

問7 あなたは、健康や福祉に関して困ったときに相談する相手（機関）はいますか（ありますか）。(1つに○)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. いる (ある) | 2. いない (ない) |
|------------|-------------|

問7で「1」を選んだ方にお尋ねします。

問8 相談相手（機関）は誰（どこ）ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 近所の人 |
| 3. 友人 | 4. 民生委員・児童委員 |
| 5. 自治会の役員 | 6. 医師・歯科医師・薬剤師・保健師 |
| 7. ケアマネジャー（介護支援専門員）・相談支援専門員 | |
| 8. 市の窓口 | 9. 職場の人 |
| 10. 社会福祉協議会 | 11. その他 (|
| |) |

問9 相談機能を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 気軽に話を聞いてもらえること |
| 2. 身近なところで相談できること |
| 3. 電話やファックス、Eメール等によりいつでも相談できること |
| 4. 手話通訳や要約筆記などを配置した窓口を設置すること |
| 5. 適切なアドバイスができる専門的な人材がいること |
| 6. プライバシーへの配慮がなされていること |
| 7. 相談からサービス提供まで一貫した支援体制を充実すること |
| 8. その他 (|
| 9. 特にない |

3-1.地域における支え合いについてお尋ねします（互助）

問10 あなたは、ご近所との付き合いをどの程度していますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. よく付き合っている | 2. ある程度付き合っている |
| 3. あまり付き合っていない | 4. 全く付き合っていない |

問11 ご近所との付き合いは、どの程度が望ましいと思いますか。(1つに○)

- 1. 住民全ての間で困ったときに互いに助け合う
- 2. 気の合う住民の間で困ったときに助け合う
- 3. 困ったときに助け合うことまではしなくても、住民同士で交流する
- 4. 地域での付き合いは必要ない
- 5. その他 ()
- 6. 特にない

問12 地域に支えられた(助けられた)と感じたことはありますか。(1つに○)

- 1. ある
- 2. ない
- 3. わからない

問12で「1」を選んだ方にお尋ねします。

**問13 支えられた(助けられた)と感じたのはどんなときでしたか。
(あてはまるものすべてに○)**

- 1. 安否確認の声かけ
- 2. 話し相手・相談ごとの相手
- 3. 近所の外出(買物や通院)の付添い・手伝い
- 4. ゴミ出し・掃除の手伝い
- 5. 庭木の手入れや草取り
- 6. 気になることがあったときの通報
- 7. その他 ()

問14 地域の人々がお互い力を合わせて、住みよい地域社会を実現していくうえで問題となることは何だとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 近所付き合いが減っていること
- 2. 自治会の活動などに参加しない人が増えていること
- 3. 地域に関心のない人が多いこと
- 4. 地域や世代間での交流の機会が少ないこと
- 5. 地域の中で気軽に集まれる場所が少ないこと
- 6. 相談する場所や緊急時の対応の仕方がわからないこと
- 7. その他 ()
- 8. 特に問題はない
- 9. わからない

**問15 民生委員・児童委員が行う活動として、ご存知の内容を選んでください。
(あてはまるものすべてに○)**

- 1. 日常生活の悩みや心配ごとの相談
- 2. 福祉に関する情報の提供
- 3. 高齢者や障がいのある方への訪問
- 4. 高齢者の実態調査
- 5. 虐待児童の早期発見
- 6. 官公庁等の依頼による事実確認
- 7. いずれも知らない

3-2.防災についてお尋ねします

問16 あなたは、災害が起こった場合の地域での避難場所をご存じですか。(1つに○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない

問17 大規模災害時に自力で避難することが困難な方（要援護高齢者や重度の障がいのある方など）の情報を地域で共有し、災害に備える取組みについてどう思いますか。
（1つに○）

1. 取り組むべきである 2. どちらかと言えば、取り組んだほうがよい
3. どちらかと言えば、取り組まなくてもよい
4. 取り組む必要はない

問18 「災害時に住民が支え合う地域づくり」には何が必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで○)

1. 自主防災組織（地域住民で結成する防災隊）の活性化
2. 地域の高齢者などがどこに住んでいるか一目でわかる「マップ（地図）」の作成
3. 地域での定期的な避難訓練
4. 地域やグループなどでの勉強会
5. 福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携
6. わからない
7. その他（

4.社会福祉に関する活動についてお尋ねします（共助）

問19 あなたは、地域活動やボランティア・NPO活動等に参加していますか。
(1つに○)

1. 現在、参加している
2. 現在は参加していないが、過去に参加したことがある
3. 参加したことがない

問19で「1」を選んだ方にお尋ねします。

問20 あなたの地域活動やボランティア・NPO活動についてあてはまるものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 自治会の活動 | 2. 女性団体の活動 |
| 3. 子ども会の活動 | 4. 老人クラブの活動 |
| 5. P T A（小中学校等）の活動 | 6. 子育てサークルの活動 |
| 7. スポーツ団体の活動 | 8. 趣味等のサークル、グループ活動 |
| 9. 消防団、自主防災組織等の活動 | 10. ボランティア団体の活動 |
| 11. N P O団体の活動 | |
| 12. その他（ ） | |

問21 あなたは、今後、地域活動やボランティア・NPO活動等に参加（継続）したい
と思いますか。（1つに○）

1. 参加（継続）したい 2. 参加（継続）したくない

問 22 へ

問21 「1」を選んだ方にお尋ねします。

問22 あなたが、今後、地域活動に参加するとしたら、どの分野の活動に参加したいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 高齢者への支援に関する活動 | 2. 障がいのある方への支援に関する活動 |
| 3. 子育て支援に関する活動 | 4. 健康づくりに関する活動 |
| 5. 地域の清掃・美化活動 | 6. 消防・防災に関する活動 |
| 7. 青少年育成・支援に関する活動 | 8. 防犯や交通安全に関する活動 |
| 9. 地域の祭りや伝統行事など | 10. その他 () |

問23 地域の活動や行事が、地域でもっと活発に行われるようにしていくためには、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. あいさつができる、顔見知りの関係をつくる |
| 2. 新築・マンション入居など、新たに住む人との関係づくりを強化する |
| 3. 自治会・子ども会・老人クラブ・地域でのサロン活動等を活発にする |
| 4. 小学校や中学校など、学校教育と住民の交流やつながりを深める |
| 5. 地元の事業者など、事業者とつながりを深める |
| 6. 交流の機会となる地域の行事を増やしたり、充実を図ったりする |
| 7. その他 () |

5.権利擁護についてお尋ねします

問24 自分でお金の管理やさまざまな手続きを行うことが難しくなったとき、代わりにしてくれる人がいますか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 一人だけいる | 2. 二人以上いる |
| 3. いない | 4. わからない |

問24で「1」「2」を選んだ方にお尋ねします。

問25 お金の管理やさまざまな手続きを代わりにしてくれる人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | | |
|------------|------|----------|------|---------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 | 4. 孫 | 5. 兄弟姉妹 |
| 6. その他 () | | | | |

問24で「3」「4」を選んだ方にお尋ねします。

問26 お金の管理やさまざまな手続きができなくなったとき、それらを代わりにしてくれる制度を利用しようと思いますか。(1つに○)

- | |
|---------------|
| 1. 利用したい |
| 2. 利用しようと思わない |
| 3. わからない |

問 27 へ

問26で「2」を選んだ方にお尋ねします。

問27 利用しようと思わない理由は何ですか。（1つに○）

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 手続きの方法がわからない | 2. どのような効果があるかわからない |
| 3. お金がかかる | 4. 誰が代わりにするかわからない |
| 5. 制度を知らない | 6. 不正が心配 |
| 7. その他（ | ） |

**問28 あなたが「身寄りのない高齢者」（※）と感じる人は身近にいますか。
（1つに○）**

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

※「身寄りのない高齢者」とは

親族がいない場合、親族がいても連絡が取れない場合、親族がいても高齢・病気・障がい等により支援が困難な場合、親族がいても関係性が悪く、支援を拒否されている場合、親族が遠方に住んでおり、実質的に支援できない場合、親族はいるが本人が支援を拒否している場合が挙げられます。

問28で「1」を選んだ方にお尋ねします。

**問29 身寄りのない高齢者が困っていることは何だと思いますか。
（あてはまるもの3つまで○）**

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 金銭・財産管理に関すること | 2. 緊急時に関すること |
| 3. 入退院・施設入所の手続き | 4. 死後に関すること |
| 5. 身元保証に関すること | |
| 6. その他（ | ） |

**問30 身寄りのない高齢者に必要な支援は何だと思いますか。
（あてはまるもの3つまで○）**

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 日常の金銭管理 | 2. 緊急時の対応 |
| 3. 入退院・施設入所の手続き | 4. 死後事務や遺体の引き取り |
| 5. 身元保証サービスの利用 | 6. 成年後見制度（※）の利用 |
| 7. その他（ | ） |

※成年後見制度とは

認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が十分でない方を保護、支援するための制度。家庭裁判所が選任した成年後見人が、本人の利益を考えながら、本人の代理として契約（財産管理や施設入所）などの法律行為をすることができます。

問31 あなたは「成年後見制度」について知っていますか。（1つに○）

- | |
|-------------------------|
| 1. 本人または家族が利用している |
| 2. 利用していないが、制度の内容を知っている |
| 3. 聞いたことはあるが、内容までは知らない |
| 4. 聞いたことがない |

問32 成年後見制度の利用促進に向けての課題は何だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 制度に関する十分な知識がない | 2. 誰に相談して良いか分からない |
| 3. 本人や家族、親族等の理解が得られない | |
| 4. 申立費用や後見報酬などの費用がかかる | 5. 内容や手続きが煩雑である |
| 6. その他 (|) |
| 7. 特にない | 8. わからない |

6.福祉サービスなどについて、お尋ねします（公助）

問33 赤穂市社会福祉協議会は、本市との十分な連携・協働のもとに、地域福祉の推進を図るための公共性、公益性の高いさまざまな活動を行っている民間非営利組織です。あなたは、赤穂市社会福祉協議会の活動についてご存知ですか。

(1つに○)

- | |
|------------------|
| 1. 名前も活動内容も知っている |
| 2. 名前のみ知っている |
| 3. 名前も活動内容も知らない |

問34 赤穂市の福祉サービスについて、あなたはどのように感じていますか。

(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. とても充実している | 2. まあまあ充実している |
| 3. あまり充実していない | 4. 充実していない |

問35 あなたは、本市の福祉に関する情報について、どのようにして入手したいですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1. 家族や友人・知人から | |
| 2. 隣近所の人から | |
| 3. 地域の民生委員・児童委員から | |
| 4. 市の広報紙やパンフレットから | |
| 5. 市のホームページから | |
| 6. 市のSNS (Instagram、Facebook、LINE など) | |
| 7. 社会福祉協議会広報誌「あこう社協だより」から | |
| 8. 社会福祉協議会のホームページから | |
| 9. 社会福祉協議会のSNS (Instagram、Facebook) | |
| 10. 自治会の回覧板 | |
| 11. わからない | |
| 12. その他 (|) |

問36 あなたは、本市の福祉の取組みの中で、今後特に取組むべきと思われるものは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 高齢者や障がいのある方が安心して暮らせる在宅福祉の充実
2. 子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実
3. 健康の保持・増進を図る健康づくりの取組みの充実
4. 医療サービスの充実
5. 生きがいづくりを支援するサービスの充実
6. 地域でのボランティア活動やNPO活動の充実
7. 安心して快適に暮らせる住宅や住環境の整備
8. 安全に外出や移動ができる道路や公共交通などの整備
9. 防犯や防災対策の充実
10. 相談窓口、相談体制の充実
11. 福祉に関する情報提供の充実
12. その他（ ）
13. 特になし

問37 地域福祉に関するご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

[illegible]

ご協力ありがとうございました。

【問い合わせ先】

赤穂市 健康福祉部 社会福祉課

いきがい福祉総務係

電話：0791-43-6809（直通） FAX：0791-45-3396

メールアドレス : ikigai@city.ako.lg.jp